

# 豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

51

## 1 施策の概要

1-1 施策の名称	財政運営			基本施策コード	6 2 3
1-2 担当	部	総務部	課 又は施設	収納課	評価票作成者 収納課長 荒川 実
1-3 総合計画における施策の体系	節	計画推進「効率的で顧客志向の行政経営」			
	項	行政経営			
1-4 施策の目的	時間外に納税相談を実施し、納税の理解を得て、高い収納率を保ち、自主財源を確保する。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価		
総合評価		

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期(平成18年度~平成22年度)			全期間(平成23年度~平成27年度)			指標の定義
		目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	目標値(単位)	実績値(単位)	達成率(%)	
		収納率(全体)	97.0(%)			97.0(%)		

## 2 施策推進の状況

2-1 施策全体に係る合計コストの推移(千円)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費	0	0	0	0						
	人件費	640	422	422	422						
	合計コスト	640	422	422	422						

## 3 施策の担当課による評価結果

3-1 評価結果		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価	<input checked="" type="checkbox"/> 良好に進展	<input type="checkbox"/> 良好に進展									
	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない	<input type="checkbox"/> 良好でない

3-2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	税源移譲・定率減税の廃止により住民税の増税感が増し、納期限内に完納する納税者は減少することが予想される。	期限内納付の困難な納税者には、年度内に完納できるよう分割納付などの納税相談が必要がある。また、時間外納税相談は納税者の利便性を考慮するとこれまで以上に重要な事業である。	時間外納税相談は滞納者の希望日時に実施し、税を収納、高い収納率を保ち、自主財源の確保に寄与した。
平成19年度	時間外納税相談・収納を毎月2回実施しているが、夜間や土・日曜日に納税したいという市民が徐々に増えてきた。今後、市民ニーズや他市町の状況を踏まえて、納税機会を拡大する必要がある。	期限内に納付することができない市民が徐々に増え、分割納付などの納税相談が増加した。今後も、時間外納税相談・収納は納税者の利便性を考慮すると引き続き実施すべき事業である。	概ね満足する成果をあげた。
平成20年度	時間外納税相談・収納更に10月より月1回の休日収納を実施し、市民の納税機会の拡大を図ってきたが、他市町の状況を考慮すると抜本的な納税方法の見直しが必要と思われる。	経済状況の急速な悪化により、期限内納付の困難な市民が増え、時間外納税相談等を含め、積極的に納税相談を進め早期完納に努めることは引き続き実施すべき事業である。また、市民の納税機会の拡大に対し、コンビニ収納を含めた新たな事業を考慮する必要があると思われる。	概ね満足する成果をあげた。
平成21年度	休日収納、夜間納税相談などを実施し、納税機会の拡大を図ってきたが、納税者のニーズを踏まえ、様々な納税方法の導入を検討していく必要がある。	納税者の生活スタイルの多様化や経済状況の変化による収入変動などに対して、適切な対応ができる体制を整備していくことが重要である。	概ね満足する成果をあげた。
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

